

まだ、法学を知らない君へ ——未来をひらく13講

東京大学法学部「現代と法」委員会 編

担当編集から 本書は、東京大学にて1・2年生向けに法学の導入科目として開講されている人気の講義「現代と法」を一冊にまとめた書籍です。同性婚や非正規格差問題、台頭するビッグテックへの対応など、現代社会の抱える問題について、東京大学法学部の先生方がわかりやすく解説をしています。私たちが今のような問題に直面して、そして、法学がその問題に対応する上でどのような役割を果たしているのか、「まだ、法学を知らない」人も学ぶことができます。今、法学を学んでいる人も、本書を通じて法学が取り組んでいる具体的な事象を知ることで、法学学習に肉が付き実学としての法学の理解を深めていくことができます。東京大学の授業を覗いて、皆さんの法学の世界を拡張してみませんか？(K)



レベル - 用途 - 対象
初級 教養 学部 LS 一般

2022年7月発売 / 248頁 / 定価1980円(税込)
四六判 / 並製

Index 様々な問題を取り扱っているので、幅広い法律・法分野に接することができます。

はじめに(白石忠志)

第1講 デジタル社会と憲法(穴戸常寿)

第2講 同性カップルと婚姻(沖野眞巳)

第3講 刑法は個人の尊厳を守れるか
——性刑法の改正議論を題材に(和田俊憲)

第4講 金融サービス仲介業制度の導入
(神作裕之)

第5講 役員報酬と法(飯田秀総)

第6講 非正規格差をなくすには(神吉知郁子)

第7講 著作権法の過去・現在・未来
(田村善之)

第8講 プラットフォーム全盛時代に
適正な競争を確保する(白石忠志)

第9講 ビッグテックの台頭
——競争法は機能しているか?
(Simon VANDE WALLE)

第10講 GAFAsの利益をつかまえる
——経済のデジタル化と国際課税ルール
(増井良啓)

第11講 国家間のサイバー攻撃を
どう規制するか?
——国連におけるICTs規制論議の
経緯・現状・課題(森 肇志)

第12講 契約とContract
——比較法からバンデミック・オリンピックまで
(溜箭将之)

第13講 一人一票の原則を疑う(瀧川裕英)

詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

